

シグマ研究委員会ガンマ線生成核データW. G.
昭和 59 年 第 4 回 会 合 議 事 録

1. 日 時 昭和59年12月7日(金) 13:30~17:30
2. 場 所 原研本部第7会議室
3. 出席者 浅見(哲), 水本(原研), 肥田, 山室(NAIG),
八谷(三井造船), 井頭, 播磨, 北沢(東工大)

4. 配布資料

- (1) Cuの捕獲ガンマ線スペクトルの評価(山室)
- (2) Uのガンマ線生成断面積の評価(肥田)
- (3) Siの捕獲ガンマ線スペクトルの評価(北沢)

5. 議 事

- (1) Gruppelaarのspin cut-off parameterと山室氏の決定したpartial level densityを用いて計算したCuの捕獲ガンマ線スペクトルとGilbert-Cameronのlevel densityを用いて計算した結果について説明があり, 後者のスペクトルがやゝhardであることが示された。
- (2) 肥田氏から低励起状態における準位密度に関する従来の定温度公式と観測値との間の喰違いを改良するための試案とこれを用いて行なったUのガンマ線生成断面積の評価結果が報告された。
- (3) 北沢氏から, Siの中性子共鳴領域における平均ガンマ線スペクトルの観測値とCASTHYによる計算結果の比較が示され, 中重核における捕獲ガンマ線核データの取扱いについて提案がなされた。